⑨ 引佐峠

標高200mにある峠。付近には石畳が敷かれ往時の雰囲気を感じさせる。奥浜名湖自然歩道と交差し、奥浜名オレンジロードがすぐ脇を走る。お手洗いや東屋があり、休憩できる。

⑩ 象鳴き坂

引佐峠西の急峻な坂道。享保14年(1729)、清国商人が献上した象が天皇展覧ののち、江戸へ送られる途中、姫街道を通った。あまりにも急坂のために象が悲鳴をあげたことから、象鳴き坂と名付けられたという。

⑪ 慈眼寺

明治初年の大火で古い寺は消失したが、後年に佐久米の阿弥陀堂を移し、庚申堂として青面金剛童子像を安置した。庚申堂の格子天井には天井絵(花鳥画)があり、浜松市の文化財に指定されている。

⑫ 三ヶ日宿本陣跡

三ヶ日宿は現在の浜松市北区三ヶ日町の中心部にあたる。問屋場跡付近から本陣跡付近までは、建物は新しくなったが奥行きのある宿場独特の町割りが残っている。本陣は旧清水家呉服店の前にあったが現存しない。

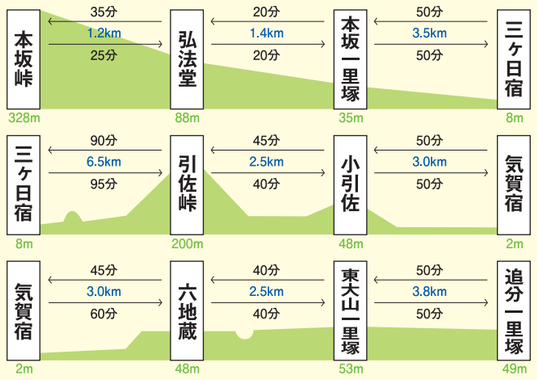
⑬ 本坂一里塚

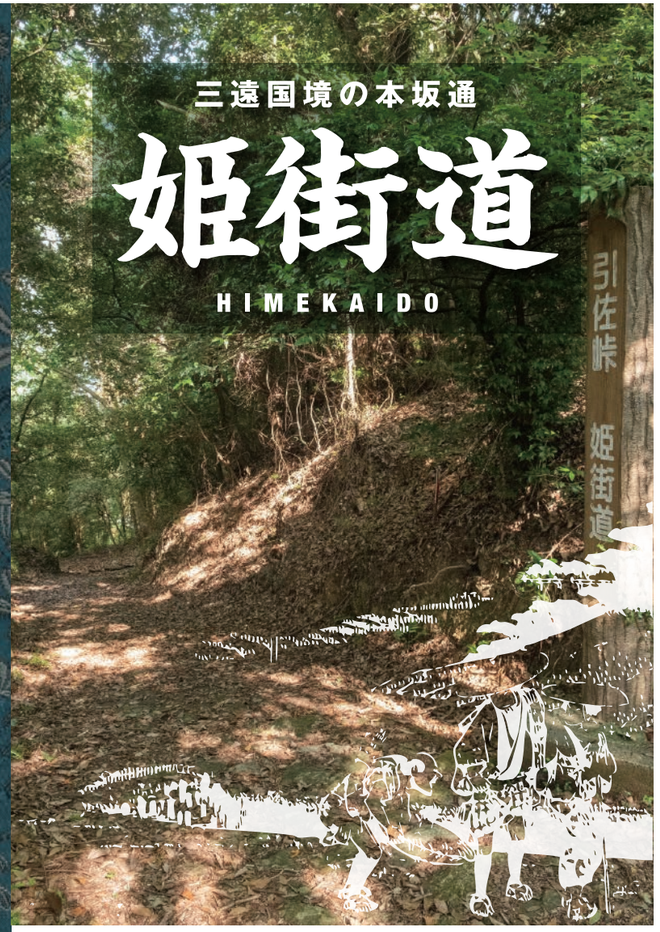
江戸から72番目の一里塚で浜松市指定史跡。北側の塚は一部が削られているものの良好な状態で残る。南側の塚は復元されたものである。隣接する祠には、各所から集められた6体の馬頭観音が祀られている。

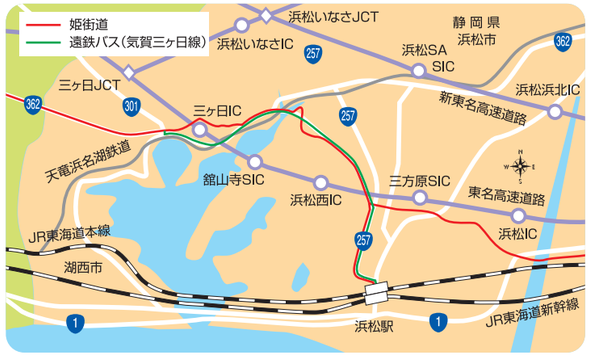
⑭ 本坂峠

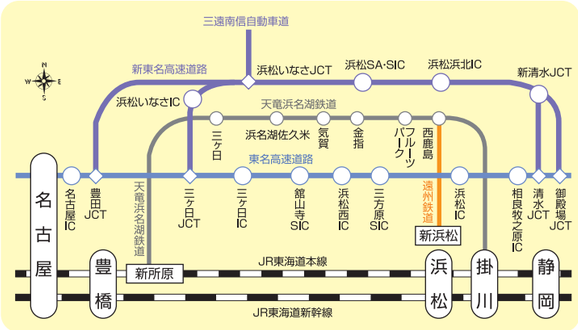
山道を進んだ先にある標高328mの峠。姫街道随一の難所であり、三遠国境であった場所。道が分岐しており、西へ進むと嵩山宿方面、南へ進む道は湖西連峰ハイキング道、北へ山を登ると坊ケ峰山頂へと至る。

姫街道　所要時間の目安









お問い合わせ

●浜松市北行政センターまちづくり推進　☎053-523--1114
●奥浜名湖観光協会　☎053-522-4720
●三ヶ日町観光協会　☎053-524-1124

《公共交通機関》
■遠州鉄道(路線バス)　☎053-455-2255
■天竜浜名湖鉄道　☎053-925-2276
■遠鉄タクシー　☎053-412-7777

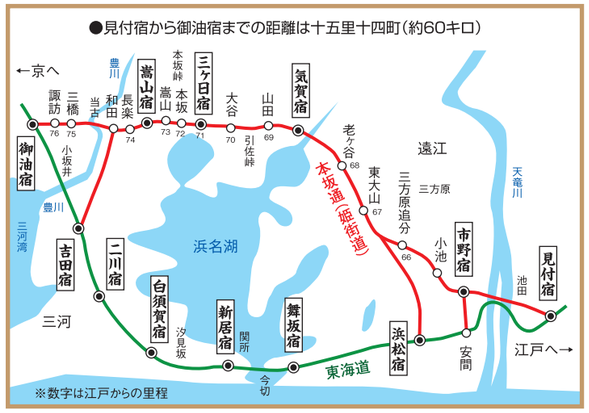
姫街道とは

姫街道は東海道の見付宿から浜名湖北岸を迂回し御油宿へと通じる東海道の脇往還です。

姫街道という呼び名は俗称であり江戸時代までは公的には「本坂通」と呼ばれ、東海道と安間新田村で分岐して市野宿を経て三方原追分へ至り気賀宿に通じる道筋と、浜松宿から三方原追分へ至る道筋がありました。

18世紀初頭の大地震による津波や高潮の影響で東海道浜名湖今切付近の通行が困難になると、多くの人が姫街道を通るようになりましたが、時代が進むにつれて次第に通行量は減っていき、静かな街道になりました。

この姫街道マップでは追分一里塚から愛知県との県境にあたる本坂峠までの道筋をご案内します。気賀関所や三ヶ日宿をはじめ、石畳や史跡など道中には往時の面影が残る場所が多くあります。



姫街道散策を楽しむために!

事前にコースを検討し、時間と体力に余裕をもった計画を立てることが大切です。出発前夜は十分に睡眠をとり、当日は健康状態のチェックをしっかり行いましょう。

姫街道の気賀宿～引佐峠～三ヶ日宿区間、本坂峠付近は石畳の道や急な山道の箇所があります。歩きやすく滑りにくい靴や服装で出かけましょう。

つねに現在地と地図を照らし合わせることが大切です。「道に迷ったな」と感じたら、正規のコースだとはっきりわかるところまで戻りましょう。

●コース内の植物・昆虫はむやみに採取しないこと
●ゴミは必ず持ち帰ること
●山火事を防ぐため、吸殻は必ず携帯灰皿に! 投げ捨ては絶対にしないこと
●人に危害を及ぼすダニ、ハチ、マムシなどに気を付けること

浜松市気賀関所

浜松市北区細江町気賀4577
☎053-523-2855
入場料／大人150円、団体(20名以上)100円
高校生以下無料
公開時間／9:00～16:30
定休日／無休　施設点検等で臨時休業の場合あり

浜松市姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館

浜松市北区細江町気賀1015-1
☎053-523-1456
開館時間／9:00～17:00
休館日／月曜日、月曜が祝日の場合は翌日、祝日の翌日および12/29～1/3

浜松市姫様道中

姫様も通ったとされる姫街道の豪華絢爛な道中行列を再現した伝統行事。
日時／3月最終土曜日
会場／細江町市街地一帯
お問合せ／浜松市姫様道中実行委員会
☎090-7681-5724

① 追分一里塚

街道に一里(約4キロ)ごとに設けられた一里塚。追分一里塚は小池一里塚に次いで、江戸(東京日本橋)から66番目の一里塚。かつては道路の両側にあったが、現在は南側の築土のみ残る。

② 東大山一里塚

江戸から67番目の一里塚。一部が復元されているが、両側に残る点で貴重である。江戸時代、行き倒れになった人や馬の霊を祀る馬頭観音と祠が南側に建てられている。

③ 曲り松

ここは姫街道と庄内道の交差点で、江戸時代に領主や行列の送迎をした場所といわれる。樹齢500年といわれる初代の松は昭和48年に枯れ、現在は3代目。松の横には松島十湖の句碑がある。

④ 長坂

旧姫街道の面影を残す道幅2mほどの未舗装の坂道であり、坂道下の新屋の集落まで続いている。地面が濡れていると滑りやすいため、歩く際には注意が必要。

⑤ 気賀関所跡

気賀関所は気賀近藤家によって警固され、「江戸へ向かう鉄砲」と「江戸から出る女性」の通行を取り締まった。現在も本番所の一部が残り、気賀四つ角付近の商店と商店の間の路地を進むと右手にある。

⑥ 修理殿松

永禄12年(1569)、気賀の堀川城落城の際、城将の1人山村修理は舟で逃れ、この地で切腹したと伝えられる。その後、里人がその霊を弔うために松を植えたといわれる。松は枯れて現存しない。この付近は車両の通行ができない。

⑦ 小引佐

眼下に浜名湖の入り江である引佐細江湖や、皇室ゆかりの地であるプリンス岬などが一望できる。姫街道の中でも風光明媚な場所として知られる。

⑧ 薬師堂

姫街道に面して建てられている薬師堂で、創建年代は不詳。本尊の薬師如来坐像の台座の裏の銘文から、天保六年(1835)に再建されたことが分かる。